



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キッツ

コード番号 6498 URL <https://www.kitz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 誠

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務センター長 (氏名) 牛丸 誠 TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	123,358	4.3	10,702	25.5	11,528	21.8	8,527	31.4
2022年12月期第3四半期	118,259	20.9	8,525	30.7	9,465	42.0	6,488	69.5

（注）包括利益 2023年12月期第3四半期 12,940百万円（7.7%） 2022年12月期第3四半期 12,013百万円（132.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	95.07	95.06
2022年12月期第3四半期	72.37	72.36

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	163,323	100,688	60.9	1,108.19
2022年12月期	152,569	91,042	59.0	1,002.69

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 99,421百万円 2022年12月期 89,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	18.00	33.00
2023年12月期	—	18.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	19.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	5.7	12,900	16.7	13,300	10.4	9,700	13.5	108.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）KITZ Corporation of Vietnam Co., Ltd.、除外 1社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	90,396,511株	2022年12月期	90,396,511株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	681,330株	2022年12月期	697,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	89,690,049株	2022年12月期3Q	89,650,984株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。（2023年12月期3Q 396,076株、2022年12月期 418,587株）  
また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。（2023年12月期3Q 406,830株、2022年12月期3Q 453,294株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年11月10日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制や入国制限が撤廃され、経済活動の正常化が見られた一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー資源・原材料価格の高騰や金融引き締めによる景気の下振れ懸念など先行き不透明な状況が続きました。国内経済においても、新型コロナウイルス感染症による行動規制が撤廃され、個人消費やインバウンド市場の持ち直しが見られるなど景気は回復基調となりつつあったものの、地政学リスクの発生等によるエネルギー資源・原材料価格の高騰や円安基調の為替相場継続に伴う物価上昇など厳しい状況が継続しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間は、バルブ事業において、国内市場では前期及び当期に実施した価格改定効果や半導体製造設備向けの増収があったほか、海外市場においても米州向けを中心に増収となったこと等により、売上高の総額は前年同期比4.3%増の1,233億58百万円となりました。

損益面では、営業利益は、バルブ事業において半導体製造設備向けが増収になったことや海外市場における増収による増益等により、前年同期比25.5%増の107億2百万円となりました。経常利益は、前年同期比21.8%増の115億28百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の計上等により、前年同期比31.4%増の85億27百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内市場において前期及び当期に実施した価格改定効果や半導体製造設備向けの増収があったほか、海外市場においては米州向けが増収となったこと等から、前年同期比8.9%増の1,003億55百万円となりました。営業利益は、増収による増益等により前年同期比18.9%増の134億80百万円となりました。

#### ② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、売価に影響を与える原材料相場は前年同期と同水準であったものの、販売量が減少したことにより、前年同期比14.0%減の211億34百万円となりました。営業利益は、販売量が減少したものの、減耗率の低減等により、前年同期比179.3%増の3億1百万円となりました。

#### ③ その他

その他の外部売上高は、ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症による行動規制が撤廃され、宿泊客が増加したことや諏訪湖祭湖上花火大会が予定通り開催されたことにより、前年同期比19.6%増の18億69百万円となりました。営業利益は、売上高の増加等により、前年同期比298.6%増の1億2百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金や棚卸資産、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ107億53百万円増加し1,633億23百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金の減少等はありませんでしたが、流動負債のその他や未払法人税等、仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ11億7百万円増加し626億34百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いはありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益85億27百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ96億45百万円増加し1,006億88百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ12億81百万円増の253億58百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益123億93百万円、減価償却費53億18百万円等により、法人税等の支払36億4百万円、棚卸資産の増加33億13百万円等はありませんでしたが、営業活動によるキャッシュ・フローは98億89百万円の資金の増加(前年同期は49億10百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に有形固定資産の取得による支出62億89百万円等を行った結果、投資有価証券の売却による収入16億29百万円等はありませんでしたが、投資活動によるキャッシュ・フローは49億32百万円の資金の減少(前年同期は44億62百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払32億44百万円、長期借入金の返済による支出15億67百万円等により、長期借入れによる収入16億円等はありませんでしたが、財務活動によるキャッシュ・フローは48億52百万円の資金の減少(前年同期は52億67百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,370	25,790
受取手形、売掛金及び契約資産	22,400	23,058
電子記録債権	11,139	11,634
商品及び製品	13,765	16,130
仕掛品	7,542	8,464
原材料及び貯蔵品	11,699	13,485
その他	2,431	3,077
貸倒引当金	△171	△156
流動資産合計	93,177	101,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,079	14,375
機械装置及び運搬具（純額）	12,393	13,437
土地	9,910	9,844
その他（純額）	10,816	11,396
有形固定資産合計	45,200	49,054
無形固定資産		
のれん	301	265
その他	2,863	2,007
無形固定資産合計	3,164	2,272
投資その他の資産	11,027	10,511
固定資産合計	59,392	61,838
資産合計	152,569	163,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,975	9,340
1年内償還予定の社債	312	135
短期借入金	856	850
1年内返済予定の長期借入金	1,985	1,867
未払法人税等	1,356	1,725
賞与引当金	2,872	1,838
役員賞与引当金	252	198
その他	6,724	8,681
流動負債合計	23,335	24,636
固定負債		
社債	30,405	30,270
長期借入金	3,361	3,512
役員退職慰労引当金	271	293
役員株式給付引当金	197	184
退職給付に係る負債	744	782
資産除去債務	500	469
その他	2,710	2,484
固定負債合計	38,190	37,997
負債合計	61,526	62,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	5,729	5,728
利益剰余金	57,911	63,194
自己株式	△460	△458
株主資本合計	84,387	89,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,916	2,042
為替換算調整勘定	3,716	7,788
退職給付に係る調整累計額	△79	△80
その他の包括利益累計額合計	5,553	9,750
株式引受権	20	15
非支配株主持分	1,081	1,251
純資産合計	91,042	100,688
負債純資産合計	152,569	163,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	118,259	123,358
売上原価	89,537	91,303
売上総利益	28,722	32,055
販売費及び一般管理費	20,196	21,353
営業利益	8,525	10,702
営業外収益		
受取利息	38	122
受取配当金	158	161
為替差益	621	209
保険収入	126	141
助成金収入	143	258
その他	258	243
営業外収益合計	1,347	1,136
営業外費用		
支払利息	181	191
その他	226	118
営業外費用合計	408	310
経常利益	9,465	11,528
特別利益		
有形固定資産売却益	42	6
投資有価証券売却益	—	977
その他	—	182
特別利益合計	42	1,166
特別損失		
有形固定資産除売却損	51	56
減損損失	—	242
その他	3	2
特別損失合計	54	301
税金等調整前四半期純利益	9,452	12,393
法人税等	2,837	3,724
四半期純利益	6,615	8,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	141
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,488	8,527



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,615	8,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	125
為替換算調整勘定	5,432	4,147
退職給付に係る調整額	△31	△1
その他の包括利益合計	5,397	4,272
四半期包括利益	12,013	12,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,777	12,723
非支配株主に係る四半期包括利益	235	216

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,452	12,393
減価償却費	5,018	5,318
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,039	△1,076
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	42
受取利息及び受取配当金	△196	△283
支払利息	181	191
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△977
減損損失	—	242
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,645	△20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,254	△3,313
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△273	△380
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,015	△324
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,166	1,508
その他	687	118
小計	9,118	13,438
利息及び配当金の受取額	203	282
利息の支払額	△212	△226
法人税等の支払額	△4,197	△3,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,910	9,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,517	△6,289
有形固定資産の売却による収入	83	9
無形固定資産の取得による支出	△348	△377
投資有価証券の取得による支出	△20	△17
投資有価証券の売却による収入	—	1,629
定期預金の純増減額 (△は増加)	190	△114
その他	150	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,462	△4,932
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	277	△53
長期借入れによる収入	100	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,682	△1,567
社債の発行による収入	9,939	—
社債の償還による支出	△10,474	△312
配当金の支払額	△2,343	△3,244
自己株式の取得による支出	△45	△66
その他	△1,039	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,267	△4,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,628	1,176
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,190	1,281
現金及び現金同等物の期首残高	27,658	24,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,468	25,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	92,125	24,571	1,562	—	118,259
セグメント間の内部売上高又は 振替高	187	1,575	51	△1,814	—
計	92,313	26,147	1,613	△1,814	118,259
セグメント利益	11,338	108	25	△2,947	8,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,947百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,908百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務センター及び経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	100,355	21,134	1,869	—	123,358
セグメント間の内部売上高又は 振替高	177	1,548	72	△1,799	—
計	100,533	22,683	1,941	△1,799	123,358
セグメント利益	13,480	301	102	△3,183	10,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,183百万円には、セグメント間取引消去△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,122百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務センター及び経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。